

新徳新聞

http://www.shin-toku.com

第40号 2008年 6月

発行日：2008年5月31日(第1版第1刷)

☎0233-23-3434

✉shinjo-tokushukai@shin-toku.com

発行者

医療法人徳洲会 新庄徳洲会病院
総務課 企画・広報

〒996-0041山形県新庄市大字鳥越字駒場4623

も
く
じ

2面 平成20年度健康友の会総会報告

医療講演
3面 ふれあい看護体験
平成20年度新入職オリエンテーション
皆様から寄せられたご意見と回答

4面 新人職員紹介

宇和島地域への署名活動のご報告

6,743名の皆様から処分反対の声届く

この度は、修復（レストア）腎移植について愛媛県の宇和島徳洲会病院及び万波誠（まんなみ まこと）医師に対する処分反対のご署名を新庄・最上地域にお住まいの多くの皆様から頂き、誠にありがとうございました。

皆様からのご署名は5月9日までの累計で、6743名分となり、活動の中心である宇和島徳洲会病院患者の会へと送らせて頂きました。

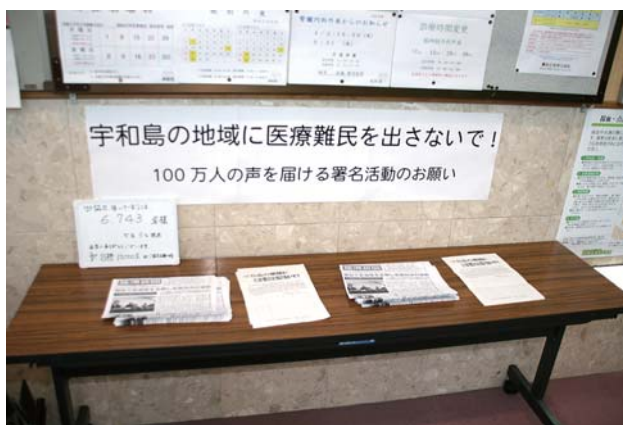
聴聞会は延期へ

署名活動は継続中

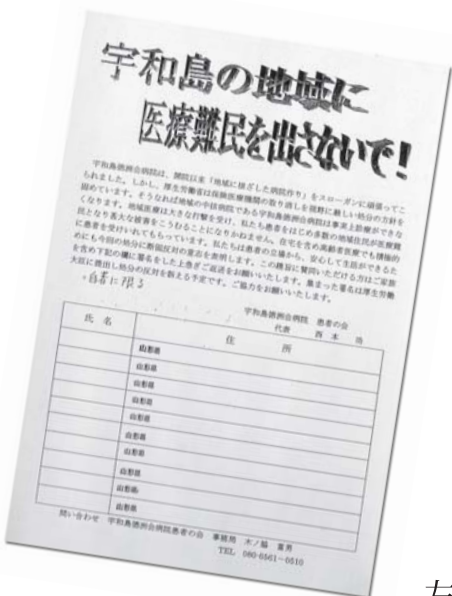
当初、5月19日に予定されていた聴聞会は愛媛社会保険事務局から宇和島徳洲会病院へ延期と伝えられました。これに伴い、宇和島徳洲会病院患者の会では全国各地から集まった署名を製本して厚生労働省へ提出する時期の変更を検討しております。

よって、当院でも徳田虎雄理事長が提唱している「生命だけは平等だ」という理念に従って、宇和島地域に医療難民を

出さないためにも署名活動はこれからも継続させて頂きたいと思えます。今後とも皆様からのご理解とご協力を頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。



左 署名用紙 上 当院内に設置した署名台



当院からのお知らせ

ピアノコンサートのご案内

日時 平成20年6月16日(月)
昼の部 14時～ 夜の部 18時～
場所 新庄徳洲会病院 1階
通所リハビリテーション室
演奏者 岳本恭治 山季布枝
入場無料です。皆様のご参加をお待ちしております。

平成20年度 健康友の会総会報告

4月13日(日)新庄徳洲会病院において、平成20年度健康友の会総会が開催されました。当日は、各地域の会員様よりご出席頂き、誠にありがとうございました。

会長の挨拶後、議案審議に入りその結果、提案された議案は原案通り可決されました。引き続き、笹壁院長による「医療朋壞」と題した医療講演が行われ、厳しい現状に課題は多くとも前向きに立ち向かう院長のお話に、会員様も真剣に聞き入っていました。

今後も、新庄徳洲会病院と健康友の会が、共に発展を目指し努力して参りますので、会員様のご理解とご協力をお願い致します。

平成20年度予算書

平成20年4月1日～平成21年3月31日

収入の部

科目	予算額
会員費	1,598,000
賛助金	10,000
雑収入	50,000
繰越金	72,691
合計	1,730,691

支出の部

科目	予算額
事務局費	1,324,000
会議費	30,000
事業費	310,000
租税公課	2,000
備品費	5,000
諸費	5,000
予備費	54,691
合計	1,730,691

平成19年度決算書

平成19年4月1日～平成20年3月31日

収入の部

科目	決算額
会員費	1,499,500
共済加入手数料	8,280
賛助金	10,000
雑収入	117,277
繰越金	41,683
合計	1,676,740

支出の部

科目	決算額
事務局費	1,303,675
会議費	10,000
事業費	244,329
租税公課	1,000
備品費	0
諸費	5,055
予備費	39,990
合計	1,604,049

収入合計 支出合計 平成19年度繰越金
1,676,740 - 1,604,049 = 72,691

平成20年度事業計画

- 一、健康祭りの開催
- 二、新田川畔桜回廊の整備
- 三、医療講演会への協力
- 四、会員へのサービス事業の実施
- 五、会員によるボランティア活動の実施
- 六、徳洲新聞の発送



平成20年度健康友の会役員紹介

会長
須藤 喜一郎 (新庄市)
副会長
山内 登美男 (戸沢村)

副会長
奥山 昭夫 (新庄市)
事務局長
柿崎 孝一 (戸沢村)

新庄市
荒川 力 (幹事)
栗田 ミツ (幹事)
西村 征業 (幹事)
岸田ツル子 (幹事)
樋口 行雄 (幹事)
松田 幸徳 (幹事)
岸 咲子 (幹事)
安田 静子 (事務局次長)
伊藤 幸義 (監査)
高橋 慶子 (監査)

戸沢村
青柳 傳治 (幹事)
斎藤 實 (幹事)
早坂 与男 (幹事)
岡田 千義 (事務局次長)
安食 良子 (協力員)
荘司栄太郎 (協力員)
田中 藤雄 (協力員)
最上町
相沢 藤雄 (監査)

舟形町
矢作 幸夫 (幹事)
松本進一郎 (幹事)
佐藤 恒雄 (幹事)
岸 正紀 (幹事)
沼澤 ツヤ (幹事)
金山町
長倉 七郎 (幹事)
菅原 将介 (幹事)

真室川町
高橋 幸生 (幹事)
鮭川村
土田 富美 (幹事)
大蔵村
鈴木 健一 (事務局次長)

医療講演開催中

4月～5月の院内医療講演は、「薬の飲み方」や「後期高齢者医療制度」「高齢者の食事」などをテーマに行いました。特に薬剤師による「しっかりと管理、きっちり服用 正しい薬の飲み方」では、参加した皆様が薬を飲むタイミングや飲み合わせ、保管方法について高い関心をお持ちでした。院内での医療講演は今後も週1回のペースで外来待合室を利用して開催しますので、皆様どうぞお気軽にお立ち寄りください。

また、院外医療講演は各地区の公民館などを会場に開催しております。ご希望がございましたら、当院地域医療連携室までお気軽にお問い合わせください。



薬剤科
しっかりと管理、きっちり服用
正しい薬の飲み方



栄養科
低栄養のリスクを防ぐ
高齢者の食事



医事課
75歳以上の方、ご確認下さい
後期高齢者医療制度

5月12日は看護の日

近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日である5月12日は「看護の日」と制定されています。そして、この日を含む1週間は看護週間であり、今年も全国各地で看護に関する行事が開催されました。

当院では5月14日、高校生計10名がふれあい看護体験を行いました。わずか1日の実習でしたが、看護することや命に対する理解と関心が深まったことでしょうか。今回の体験で得たものを通して自分の将来に役立てて欲しいと思います。

新入職者研修

4月1日から3日まで、平成20年度新入職員対象のオリエンテーションが行われました。初日の入職式に始まり、病院概要や就業規則の説明だけでなく、社会人としてのマナー、院内感染や医療安全、介助の基本方法などについても教わりました。



院長より辞令交付



接遇講座
名刺交換の練習



リハビリテーション室で
介助の基本を学ぶ

皆様から寄せられたご意見と回答

●いつもお世話になっております。この度、母の入院でお世話になっているのですが、皆様優しくて安心しております。また、病院内に保育所と図書室があり、職員の方々や入院患者さん、そして付き添いの方々が過ごしやすい様にと考えられていることに驚きました。

(答)過分なお褒めの言葉を頂き、大変感謝申し上げます。保育所や図書室の完備は、昨今当然の流れになりつつあります。図書室は入院されている方だけでなく、一般外来患者の方でも利用して頂くことが可能です。当院としては、待ち時間対策としても考えておりますので、今後一般外来の方へも利用して頂けるようにご案内致します。

●出勤前に診察してほしい。

(答)当院は、開院以来慢性的な医師不足に悩まされています。そのため、現時点ではご希望の診察時間帯から午前診を行う体制を組むことは大変困難な状況です。就業されている方につきましては、午後5時から午後7時まで行っている夕診で対応させて頂いておりますので、そちらをご利用頂けますようお願い申し上げます。

●病院前の道路を大型トラックが頻繁に通るために、駐車場から道路に出る時に大変恐ろしい思いを何度かしました。警察へ規制のお願いなどできないものでしょうか。事故が起きてからは遅いです。早急に対応をお願いします。

(答)病院正面の道路は公道となっており、47号線から分岐する地点から40キロ規制は行われていますが、おっしゃるような病院前を通過する車は横断する方にとって非常に危険を感じる場合があると思います。表示物を増やすなど対応は検討しますが、病院の南側駐車場を全て一般来院用に開放していません。皆様には可能な限り横断する必要のない南側駐車場をご利用して頂くことをお勧めします。

連載 第5回
新 人 職 員 紹 介
 薬剤科 薬剤師 宮仕 知英

Q 薬剤師になりたいと思ったきっかけは?

(宮仕)

最初は、高校の化学が好きでこれを職業にできる職種だからという単純な理由でしかありませんでした。その後、薬剤師という職業を知っていく中でその大変さや難しさも感じましたが、同時にとてもやりがいのある仕事だということも知りました。今では、半分はチャレンジ精神と好奇心だったのかもしれないと思うようになりました。でも薬剤師という職業に出会えて本当に良かったと思っています。

Q これまでの学生生活はどうでしたか?

(宮仕)

大学生活は本当に充実したものでした。私が想

像していたよりずっと大変でしたが、それも今となっては良い経験だったのだと思います。特に4年次は精神的にもつらい時期が多かったのですが、友達と励ましあい助け合うことで乗り越えることができました。それらを通じて、薬学的な知識だけではなく人間関係なども学生生活を通して学ぶことができたと思います。

Q なぜ当院を就職先にしたのですか?

(宮仕)

大学入学当初から卒業後は地元へ就職し、恩返しをしたいと思っていたのですが、次第に新庄に戻って病院に勤めるのは無理があるのでは・・・と諦めるようになっていました。しかし、大学4年の6月にこちらで行った実習を通して病院で働くことの魅力を再認識し、また新庄徳洲会病院の素晴らしい先輩方と共に学び・働きたいと強く思い、こちらへの就職を決めました。

Q 職場の雰囲気はどうですか?

(宮仕)

薬局には他県の徳洲会病院から応援者の方に来ていただいているので、他の病院の話や

様々な先輩から薬剤師について聞けることがとてもよい経験になっていると思います。自分の置かれている状況ばかり見ていては視野が狭くなってしまいうところですが、色々な職場や状況があるということを知るだ



けでもっと頑張らなくてはいけないと思うようになりました。

薬局の先輩方は、いつもとても丁寧に私に教えてくださいます。なかなか覚えられないこともありせっかく教えていただいたのに申し訳ないと思うことばかりです。だから、これからは先輩方や患者さんのためにも、この恵まれた環境を無駄にすることなくひとつでも多くのことを吸収して成長したいと思っています。

Q 仕事の中で大変なこと、良かったことは?

(宮仕)

今大変なことは、薬の商品名と一般名を一致させることです。それが終



わらないと何が処方されているのかよく分からないまま日常の業務をすることになるので、早く覚えたいと思っています。

良かったことは、患者さんと直接話す機会があったときです。まだ経験が足りないので先輩の後姿を見て学んでいます。そういう機会を大事にしていきたいです。

Q 今後の抱負を聞かせてください。

(宮仕)

新庄に戻って薬剤師として働くという夢が叶った今、今後はその夢をもっと具体化し、そのためには何をすればいいのかを考えていきたいと思っています。地域に貢献したいという漠然とした夢ではなく、どうすれば貢献することになるのかを模索していきたいと思っています。今はその初めの一步として、“薬を早く覚えること”、“患者さんの話をよく聞くこと”、“仕事に慣れること”、これらが当面の目標です。

また、今後は機会があればもっと他の部署の方とも様々なお話をしてみたいなとも思っています。

